



【その102】最も狭き門・6年生受験

SSATパーセンタイル順位

ハワイ州では、一部の公立学校をのぞき、ほとんどの小学校が、5年生で卒業を迎えます。自然の流れとして、各校の優秀な生徒たちが、一斉にイオラニ校や、プナホウ校などの私立校を受験することになります。

表1: SSATパーセンタイル順位から見る、私立校の合格ライン

私立校名	イオラニ校	プナホウ校	MPI,HBA,HSG,MK,KM*	その他
語彙	85-90	70-80	25-30	10-15
算数	85-90	70-80	25-40	10-15
読解	85-90	70-80	25-30	10-15
合計	255-270	210-240	75-100	30-45

ハワイ州では、一部の公立学校をのぞき、ほとんどの小学校が、5年生で卒業を迎えます。自然の流れとして、各校の優秀な生徒たちが、一斉にイオラニ校や、プナホウ校などの私立校を受験することになります。その受験倍率は、高いところでは、6、7倍以上で、合格ラインも年々上がっています。参考のために、塾で目標としている現在の合格ラインを表1に示します。ここでは、SSATパーセンタイル(1%から99%)を使用しています。

3つのケース  
この表に基づき、次の3つのケースについて考えます。1、SSATの結果に、3種類のスコアがあることは前回述べました。その中の、SSATパーセンタイルの合計点

SSAT受験日	11月	12月	1月
語彙	9	25	92
算数	1	10	70
読解	6	50	97
合計	16	85	259

表2: プナホウ校にSSAT合格した少女のSSATパーセンタイルの変化

(合計点は表示されていませんので、ご自分で3つのスコアの合計を出してください)は、塾独自の合格予想法ですが、それが表1の範囲内(例…イオラニ校なら255~270)であれば、一応、合格ラインに入っていると思います。特に、その上限(イオラニ校なら270)以上なら、「合格は揺るがない」と言え、もうこれ以上、SSATを受けする必要はありません。今後は、受験勉強の重点を、面接とエッセイに切り替えていくべきです。

2、もし下限ぎりぎり(イオラニ校なら255)であれば、まだ補欠になる可能性もあるので、念のためもう一回SSATを受験しておくことをすすめます。特にスコアの低かった分野に集中した受験勉強が効果的です。なぜなら、複数回SSATを受験した場合、それぞれ一番良いスコアを取ってくる傾向があるからです。

3、もし、学力が足りず、合格ラインからかなり外れているとしたら、冬休みの3週間の特訓が必要です。表2には、冬休みの集中勉強で、第一志望のプナホウ校に合格した少女の実例を紹介しましょう。

このように、最後まであきらめないで頑張った結果、数多くの塾生が、勝利の栄冠を勝ち取ることができました。過去3年間の塾生の合格者数を表3に示します。

私立校名	定員	2012年	2013年	2014年
イオラニ校	50	10	15	15
プナホウ校	88	16	21	23

表3: 過去3年間の塾生合格者数

合格の基準

ではプナホウ校やイオラニ校は、何をもちて合格、補欠、不合格を決めているのでしょうか。要素は6点ほどあるようです。それを順次みていきましょう。

- 1. 学校の成績:** 願書を提出する時に、4年生の最終成績書のコピーを提出しなければなりません。しかし、もっと大事なものは、来年1月に提出が求められる今学期の成績と英数担当者の評価・推薦状です。たとえ4年生の成績が悪くても、5年生秋学期の成績が良ければ、「この子は、よくがんばっている」と認めてもらえます。ですから、今学期、しっかり頑張ることが受験勝利の第一歩です。もし今学期の成績が悪くなった時、それでもまだチャンスは残っています。面接とSSATが際立って良ければ、審査員の心を大きく揺さぶることができます。
- 2. SSAT:** 学校の成績が優秀な塾生は、公表されている合格ゾーンの下方ギリギリのスコアでも合格しています。しかし、内申書が芳しくない場合、合格ゾーンの上方もしくはそれを上回る高得点を必要とします。
- 3. 面接:** プナホウ校は30分ぐらいの個人面接。イオラニ校は、1つのプロジェクトを共同で行わせ、グループ内での行動観察。どちらも、リーダーシップ、主体性、協調性などが重視されます。
- 4. 約30分の作文:** 内容、文法、語彙力、創造性などが評価されます。
- 5. 特別な才能:** 入学してからほかの生徒に良い影響を与えると考えられる特殊な能力。その道の第一人者・チャンピオンなら有力候補です。
- 6. 卒業生の家族:** 現在、兄弟が通っているか、家族に卒業生がいるという事実も、有利に働きます。それ以外にも、ハワイアンなどの特別枠がありますので、詳細は学校側に問い合わせてください。

\*MPI(ミッドパシフィック校)、HBA(ハワイバプテスト校)、HSG(ラビエトラ校)、MK(メリノール校)、KM(カメハメハ校)



ドクター高橋俊明  
心理学博士  
ドクター高橋塾長  
1947年宮崎県生まれ。県立大宮高、東京教育大学理学部を卒業。東京教育大学大学院心理学を修了し、ハワイ大学心理学博士課程に進学。68年に神奈川県・川崎市に高橋塾を設立し、77年にホノルルにドクター高橋塾を設立。データ分析を基にした独自の指導法で、2013年度は、ハナホウオリ校に3人、イオラニ校に35人、プナホウ校に70人を合格させている(合格率57%)。  
Web: www.juku-in-hawaii.com ☎808-949-3366